

就任挨拶

日頃より、弊社製品をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。

この度、デンカポリマー株式会社の取締役営業本部長に就任致しました江波戸利幸と申します。まずは私の自己紹介を簡単にさせていただきます。

私は平成元年に親会社であるデンカ株式会社に入社し、カーバイドや製鉄所向け脱硫材など無機製品を販売、平成10年から、デンカポリマーでCVS、GMS向け容器を販売致しました。30代から40代の吸収が良い時期に、容器業界を経験できた事は、その後の会社員としての大きな糧となっています。平成20年からはデンカに復職し、容器の蓋となるBOPS原反を販売致しました。直近の1年は、デンカ大阪支店に勤務、4月1日よりデンカポリマーで皆様のお世話になることになりました。

弊社は、昨年からの原材料、ほかの値上げを受けて、需要家の皆様に販売価格の改定をお願いせざるを得ない厳しい状況となりました。この様な状況をこゝろ理解頂いた需要家の皆様には、改めて御礼申し上げます。年初以降、原油価格は上昇しており、原材料市況の動向は、今後も良く注視をしていかなければならないと考えております。厳しい環境のもと就任したことは、身が引き締まる思いです。

さて、先ほど自己紹介の通り、弊社には10年ぶりの復帰となります。その間も原反を通じてデンカポリマーと関係がありましたが、復帰して気づいた事を幾つかご紹介致します。

一つは、益々元気な会社になっているという事です。弊社は、耐油BOPS「ユーガード」や、内嵌合性能に優れたPSP容器など、弊社が持つ特徴ある素材、成型技術を活かした新製品開発に取り組んでいますが、この開発には、営業社員が参画しています。新製品開発は、営業業務にプラスした仕事であり、個人の負担は増えますが、新製品が店頭に並んだ姿を見る達成感、開発を担当して良かったと思える瞬間であり、元気な理由の一つと考えております。また、新製品開発の過程で得た成型やデザインの知識、お客様の声を聞きニーズに敏感になる経験、自身の成長だけでなく、需要家の皆様へのご提案や、様々なご相談への回答にもきくと役立つ事と考えております。需要家の皆様より、フードバックやラップだけでなく、この食材に合う容器ならば、先ずデンカポリマーに相談してみようと思われる製品が増え、色々なご相談に対応できる社員が揃った会社になったと考えております。

取締役営業本部長

江波戸利幸



一つは、デザインが良くなった事です。当社は、毎年4月開催の「中食・外食業界の業務用専門展FABEX」に6年連続で参加しています。今年は、正面側はこれまでと同じコーポレートカラーのブルーを基調にしたデザインで、製品の機能性をアピール致しました。ここで展示した冷やし麺容器の「TPライトボウル」は、盛り付けのやり直しや閉め損じを防ぐほか、多彩な機能を盛り込み作業効率を追求した機能性が大変好評でした。反対側には、「カフェ・バル」風をイメージしたデザインで展示をしました。ご来場頂きました皆様からは、今までのデンカポリマーのイメージを一新したおしゃれな雰囲気、展示との声を沢山頂きました。もちろん展示した製品も、Dsカフェ、Dsプラス、Dsバルといったカラフルな容器、色使いが斬新だが中身を入れてみると食材が引き立つ、など大変好評でした。「従来のブルーを基調にした展示」と「カフェ・バル風の展示」、「機能性」と「デザイン」の二つの要素を取り入れた展示、製品の数々は、お客様に弊社の従来のイメージとは違う一面をご紹介できたのではないかと考えております。

食品容器が使用される惣菜や弁当などの中食市場は、2017年度に10兆円を超えました。共働き世帯の増加による「時短需要」により、中食市場は今後も伸長が続くと考えており、消費者からの容器に対する様々なニーズ、食品を製造する需要家の皆様からも、作業性の改善や機能性といった、新たな要望がますます出てくるものと考えています。前段で紹介した「TPライトボウル」は、耐油性のあるBOPS素材「ユーガード」だからこそ実現できた冷麺容器です。

この「ユーガード」は、親会社である化学メーカーのデンカが開発した新素材です。当社は、デンカと密接に連携し、新素材の開発に取り組んでいます。デンカで開発された素材を当社の成型技術で容器に作り上げ、消費者、需要家の皆様のニーズに応える、特色ある容器メーカーとして歩んでまいりたいと考えております。

最後に、食品包装材料はあくまで、「安心・安全」が第一であります。弊社は、安全な素材と厳しい品質管理のもと、真に安心で安全な製品を理念とし、お客様にご満足頂ける製品をお届けして参ります。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げますと共に、引き続き変わらぬご支援、ご愛顧のほど宜しくお願い申し上げます。